



一般社団法人

千葉県

作業療法士会

ニ ュ ー ス

令和5年度定時総会を開催しました！



Topics

- 令和5年度定時総会報告
- 令和5年度現職者研修予定
- 部局活動報告



発行責任者：坂田祥子

編集者：一般社団法人 千葉県作業療法士会 広報部 広報委員会

発行者：一般社団法人 千葉県作業療法士会 事務局

発行：2023年 9月

<http://www.chiba-ot.ne.jp>

〒266-0031

千葉県千葉市緑区おゆみ野 4-21-1 スカイビルおゆみ野 2階

TEL 080-3317-7864

令和5年度 一般社団法人千葉県作業療法士会 定時総会の報告 1

去る6月25日(日)10時より 千葉県立保健医療大学 B111 教室にて令和5年度定時総会が開催された。「県士会活動における新型コロナウイルス感染症予防対策の指針 Ver.3」に基づき対面開催で行われた。以下のとおり報告する。

1. 議案書の公開と質問の受付：議案書をホームページで公開し、議案に対しての意見や質問を6月16日(金)まで受け付け、6月19日(月)に質問とその回答を代議員にメールで送付した。(定時総会の質問・意見の頁参照)
2. 総会当日、代議員37名(委任状含む)が出席し、議長に鈴木代議員が選出され、第1号議案 令和4年度事業報告、第2号議案 令和4年度会計報告について審議され、すべての議案に対し賛成多数で可決承認された。

総会当日の質疑応答

1. 昨年度の入退会の状況、会費収入について

新規入会は85名、入会金は87,000円となっているが、一人当たり入会金1,000円であり、2,000円の誤差が生じている。誤差の理由を教えてください。

A1 金額を誤って振り込んだ方がいる。入会85名に誤りはなし。

質問内容：正会員の会費は一人8000円であるが、正会員会費の収入が「10,755,795円」と半端な金額となっている。内訳を確認したい。

回答内容：適切な金額を振り込みすることができていない会員がいる。具体的には振込手数料を引いて振り込んでいたり、中には3000円や12000円など適切な金額を振り込めていない方がいたりする。先方に確認をしてはいるが返答が得られていない状況。本来であれば雑損失や雑収入などの扱いにもなりえるが、税理士とも相談の上会費としての扱いにしている。

2. 予算執行が年度をまたいだことについて

Q2-1 事前質問のQ17「通帳とキャッシュカードを紛失し、予算の執行処理ができなかった」とあるが、発覚した時期が遅くなった理由はなにか。

Q2-2 学会の運営が各ブロックの役回りで行っていると、本来のブロック運営以上に会計業務が煩雑となり、会計管理が難しくなると考えられるが。

A2-1 補正予算で組まなくてはならないが、年度末になってわかったということもあり。短期借入金にて調整し対応した。

A2-2 学会を1-3月開催とすると会計業務が多忙となりやすい。そのため、比較的会計業務の側面から考慮すると10月ごろが望ましいとも考えられる。意見：各ブロック持ち回りで学会運営をしている状況にあり、今後同様に問題が生じる可能性も十分に考えられる。今後の在り方や対応方法を考えていけると良い。

3. 会費収入について

報告：3パーセントずつ会員数が減少している状況。会員収入で運営を継続していくと、内部留保が10年後程度にはなくなる可能性あり。予算執行率8割程度となると、継続運営が難しくなる見込み。将来の千葉県作業療法士協会の継続運営を考えると、会費の見直しが求められると考えられる。

全ての議案について承認され、11時30分閉会となった。

(千葉県立保健医療大学 有川真弓)

定時総会への質問・意見

【第1号議案についての質問・意見】

1. 入退会状況について

昨年度の入退会の状況を教えてください。退会理由の内訳（傾向）がわかれば、ざっくりで良いので教えてください。その傾向を受けて、組織率の向上に向けて何か対策を考えていることがあれば、教えてください。

A1. 2022年度 入会：85名、退会：114名、年度末時点での会員数：1275名
退会理由：他県への異動、OT協会を退会するため、退職・転職のため、一身上の都合
県士会の活動に参加しないため、OT業務をしていないため、経済的理由、
会費未納の強制退会 等

当士会では2020年以降、退会者が入会者を上回っている状況で、会員数の減少が続いています。企画委員会や福利厚生部を中心に学生や新卒者への働きかけをして入会を促すことと同時に、未入会者の入会を促進し退会を防ぐための対策をして行く必要があります。退会を防ぐ対策としては、全ての退会者の理由がわかれば対応策も具体的に講じられるように思います。会員同士の繋がりの強化を意識して、県士会活動をしていくことも一つと考えています。

(意見) 定時総会のときに、現時点での会員数(協会・県士会)を公表(または議案書に掲載)してはいかがでしょうか? 協会員＝士会員への移行を促進するための目安になるのではないかと思います。もしかしたら逆効果かもしれませんが、そういった検証も、数字がなければわからないので、ご検討ください。

⇒ 2023年6月16日時点で千葉県の協会員は2492名(自宅会員含む)。今後、総会時などで会員数の公表をすることを検討いたします。

2. 広報部 ホームページ委員会 (10ページ)

研修会広報の掲載73件のうち有料掲載2件というのは、ずいぶん少ないと感じます。無料の71件について、4つある無料基準の適用の内訳を教えてください。またこの基準の見直しをするのであれば、どこに課題があって、どういう見直しの方向性なのかを教えてください。

A2. 無料掲載適用の内訳については以下の通り。

- | | |
|-------------------|-----|
| ① 協会または他都道府県主催のもの | 47件 |
| ② 参加費無料のもの | 19件 |
| ③ 行政またはそれに準ずるもの | 2件 |
| ④ その他理事会で認めたもの | 3件 |

学術団体の学会案内など有料対象となる場合でも無料枠で申し込まれる団体が多いのが現状です。この場合、有料掲載となる旨をお伝えすると辞退となることが多いようです。ここ数年の傾向を委員に確認しましたが本年度だけが極端に少ないというわけではないと考えております。

掲載基準の見直しについて

課題としては

- ① 当士会での有料掲載基準が他県士会と差がある
- ② 理事会審議後に無料掲載対応となる事案に対して報告を求めるか
- ③ 無料掲載フローを整備し、ホームページ委員の負荷が増えないようにする

上記を基に、理事会として見直しの方向性を検討中です。

3. 広報部 企画委員会 (11 ページ)

学生対象のイベントを2回開催されていますが、それぞれの参加者数と、手ごたえ（参加者の反応など）について教えてください。

参加者数

- ・ 第1回：オンラインライブ形式で3名
- ・ 第2回：オンデマンド配信で3月5日から3月26日の期間で視聴回数47

手ごたえ（反応）

- ・ 第1回：参加者3名に対してブレイクアウトルームを3つ作り、OTRを各2名配置しました。約10分間の交流会を行い、OTRの研究やキャリアを紹介し、OTSと交流をしました。OTRからは、「参加者の反応は良く、相談や感想が多かった」、「学生たちとコミュニケーションができて嬉しかった」とのコメントがありました。OTSからは、「緊張したけれどOTの先生とお話できて勉強になって良かったです」とのコメントがありました。
- ・ 第2回：学会委員会でのアンケートにはコメントなどはありませんでした。企画委員会への学生からのフィードバックとして「とても良かった」とのコメントを1件頂いたとの報告を受けております。

4. 広報部 広報委員会 (11～12 ページ)

一般向けパンフレットを1,000部作成したとのことですが、配布はどうする（した？）のでしょうか？また、Webでのデータの公開などは考えていますか？少なくとも、県士会員には周知・共有できるようにしてほしいと思います。また、公式LINEアカウントを開通したとのことですが、運用の状況（手ごたえ）について教えてください。

【一般向けパンフレットについて】

県内養成校の卒業式で配布しました。

今後、依頼があれば各養成校でのオープンキャンパスなどの際にも必要部数をお渡しする予定です。

Webでのデータ配布については、委員会内でも今後検討してまいります。

【公式アカウントについて】

1月に12名からスタートし、県士会ニュース発行のたびに30名程度の増加があり、現在123名の登録があります。

若干伸び率が鈍化してきた印象ではあるが継続して誘導をしていきたい。

スマートフォンなどで手軽に確認ができる手軽さは大きいようで、メッセージの開封率は80~90%と高く、プッシュ型の情報配信手段としては優秀だと感じている。



総会の前後で、打ち合わせをしている様子もあちらこちらで見られました。リアル開催の醍醐味ですね。また、当日、参加が難しかった方はオンラインで参加されました。



理事・代議員が集まり県士会の運営状況について様々な質問や前向きな意見交換が行われました。

5. ブロック活動部 東葛南部・千葉中央ブロック (17～18 ページ) 他

LINE オープンチャットを開始したとのことですが、運用の状況（手ごたえ）について教えてください。また、他のブロックでも始める見込み（気運）はありますか？

【東葛南部ブロックの手ごたえ】

LINE オープンチャットは現在メンバー 13 名であり、内容としても研修案内を時々掲載する程度でとどまっております。当初期待していたブロック内の OT 同士が気軽に相談できるような運用にはまだ至っていません。今後活発な運用ができるよう、メンバーの募集や投稿しやすい雰囲気づくりをしていきたいと思っております。

【千葉中央ブロックの手ごたえ】

運用実績について

登録者数：19 名 (OTR：15 名、OTS：4 名)

登録経路：ブロック主催の交流会からの登録が主、わずかに県士会ニュースから

ブロック担当理事としては、当初の構想通り会員同士が何となく連携を取れるような関係性でオープンチャットを活用してもらっていると感じています。今後は、現在の雰囲気を持しながら、オープンチャット発信の取り組み等が千葉中央ブロックとしてできるように委員の皆さんと共同していきたいです。一方でブロック圏域の会員をカバーしていきたいが、広報の決め手に欠けるというのが正直なところです。

【千葉中央ブロックオープンチャット参加者の感想】

- ・ 様々な話題を提供・共有することができる
- ・ ブロック圏域のセラピストや学生と情報共有する手段ができたので必要に際して連絡が取れる。
- ・ まだ、参加者も手探りで運用しているような雰囲気を感じる。(参加者が頻りに交流を取っているわけではない様子)
- ・ 学生もいるので、どこまで話題として送っていいかは迷う。
- ・ 事例の相談はしにくい。

6. 財務部 (6 ページ)

4) 年会費の入金確認シールの発注をしたとあるが、前年度はなかったと思われるが如何

入金確認シールの発注・発送はありませんでした。記載ミスになります。

7. 調査部 (7 ページ)

Ⅱ 活動内容についての検討→具体的にどのような活動をしたのか？ 部員 3 名で、当初予算立てしていたようだが、活動費 110 円のみとなっている。

調査部は他部局より調査依頼があった際に調査を行う活動であり、昨年度は調査依頼がなかったため実働がなかった。部局として、他部局からの依頼だけでなく貢献できる部分がないか、引き続き考えていきたい。

8. 連携システム委員会

1. 部員 1 名→Ⅱ 1 会議開催とあるが、メンバー、内容は？また、研修会名が記載されているが、開催した研修会か？出席した研修会か？
2. Ⅱ 4) 令和 5 年 2 月 6 日 (月) 域共生～となっているが、地域共生の間違い？

1. 部員については、現在 1 名です。今後は増やしていきたいと考えております。参加した会議の内容については、マメールの運用について広報委員会と地域共生社会推進委員会の話し合いに連携システム委員会として出席しています。その他、記載した会議については、千葉県作業療法士会の連携システム委員会の委員が必要と判断された研修会に参加しました。
2. ご指摘のⅡ 4) は、令和 5 年 2 月 6 日 (月) 地域共生の間違いです。大変失礼しました。

9. 認知症対策委員会 (10 ページ)

研修会の参加費は？ →各委員会で記載方法を統一した方がよい (参加費 × 人数、委員はうち何人 など)

認知症リハビリテーション専門職研修 (基礎コース) 参加費 6,000 円 × 参加者 24 名 = 144,000 円 他、委員参加者 2 名
 認知症リハビリテーション専門職研修 (応用コース) 参加費 10,000 円 × 参加者 17 名 = 170,000 円 他、委員参加者 3 名
 認知症リハビリテーション専門職研修 (フォローアップコース) 参加費 1,000 円 × 参加者 8 名 = 8,000 円
 記載方法の統一はできるだけ図っていききたいと思います。

令和5年度 一般社団法人千葉県作業療法士会 定時総会報告Ⅱ

10. 教育部 現職者研修委員会（14ページ）

現職者選択研修のテーマ及び講師の表が切れている

パソコンによっては切れていませんので、ファイルの仕様の問題のようです。総会での配布資料では不備のないものを配布いたします。

11. 老年期障害委員会（15ページ）

研修会の参加者数が抜けている

大変失礼いたしました。参加人数を記載いたしました。

12. ブロック活動部（16ページ）

Ⅱ 活動報告 3学会シンポジウム開催の参加人数は？ また、その下の「 」がミスプリ。

参加人数は開催時に流動的で正確な人数ではありませんが、おおよそ50名程度の参加となりました。誤植についても修正しておきます。ご指摘ありがとうございます。

13. 東葛北部ブロック（17ページ）

4. 地域共生者季推進委員会 →地域共生社会推進委員会？

修正しました。

14. 40周年記念特設委員会（20ページ）

具体的な配布先（団体の種類など）についても明記があった方がよいのでは。

追加しました。

【意見】特設委員会については期間を明記してほしい → 今後、議案書に記載できるよう検討いたします。

【第2号議案についての質問・意見】

Q15. 正味財産期末残高において、約1,700万円の残高があるようですが、年度末（当初）において1,500万円程度の財産があれば、健全な財政状況だという会計士からの助言があったと思います。その目標は、概ね達成できたということで良いですか？
その理解でよければ、次年度以降は緊縮財政を意識せずに、活動に十分な予算をつけて欲しいと望みます（個人的には、広報（HP）と学術部の活動に）。

A15. 2019年度の会費の増額と約3年間のコロナ禍の活動への影響により、残高1,700万円となったと考えています。ご指摘のとおり、健全な財政として1年分の活動費の余剰が必要と会計士の助言をいただいていると認識しております。

このような見通しから、2023年度は、活動計画に沿って減額なしで予算を立てることができました。

今後は、対面の活動も再開していくことになると思いますので、この3年間とは少し予算の使い方も変化してくる可能性があります。更には、中・長期的な展望を見据えて今後の県士会活動の在り方を検討し、必要な活動や物に予算を分配していくべきと考えています。

Q16. 貸借対応表の 1. 流動負債・未払い費用（158,911円）の内訳は？

A16. ヤマト運輸の請求は事前に請求金額のお知らせがあるものの、支払いについては翌月以降になるため、例年年度末の請求については、未払い金として発生している。

Q17. 正味財産増減計算書(2) 経常費用の事業費 雑費 95989円 の内訳は？とくに東葛北部ブロックの金額が大きい。

A17. 令和3年度の学会準備の会議費、通信費について、令和3年度末に東葛北部ブロックの通帳とキャッシュカードを紛失し、予算の失効処理ができなかったため、財務部に相談し、指示を受けて令和4年度に支払い、雑費として処理した。

Q18. 保険部の記載があるが、1号議案の活動報告に記載がない。活動実態は？（6ページ）

A18. 保険部はすでに活動を終了しており、記載ミスである。

Q19. 会議開催があるが会議費0の委員会が複数ある。対面開催のみの計算か？通信運搬費の内訳は出るか（オンライン会議費？それとも、その他の通信費？）会議費と併せて、実情に合わせて数字を出せるとよいがどうか。

A19. web会議通信代は通信費に、会場までの交通費は旅費交通費に計上され、会議費に計上されるのは主にお弁当代や茶菓子代の実費です。その為、会議を開いても会議費0円という事はあります。

災害対策委員会より

安否確認訓練の実施について

日本作業療法士協会主催の「大規模災害発生を想定したシミュレーション訓練」が今年度も実施されます。千葉県作業療法士会は今年もこの訓練に参加します。

この訓練の一環として、一般会員の皆さんには「まめーる」を活用した安否確認訓練を実施致します。

実施日時：**2023年9月25日(月) 正午ごろ** *9月25日は作業療法の日です！

実施方法：被害状況・安否確認に関するアンケートメールを「まめーる」にて配信しますので、速やかに回答・返信をお願いします。

*これまで理事、各部局委員会、まめーる登録会員ごとに各連絡手段を用いて安否確認を行っていましたが、今年度より安否確認の回答方法を Google Form に一本化し、各自入力回数が一度で済むようにいたしました。

近年様々な災害が全国各地で頻発しています。平時より災害への備えを行うことがとても大切です。まめーるに加入されていない方は、この機会にぜひご加入ください。

皆さんの積極的なご参加とご協力のほど、よろしく申し上げます。

M@mail (まめーる) 登録のご案内

メール配信サービスである M@mail は災害時の連絡手段、情報収集が主目的ですが、研修会情報や理事会議事要旨など会員の皆様に向けた情報提供も積極的に行っています！！

現在 340 名程の方に登録いただいています。

まだ登録がお済みでない方は、QR または、こちらのアドレスに空メールを送ることで登録できます！ぜひともご登録ください！！ caot_iha0006@mamail.jp



LINE 公式アカウントについて

月 2 回を目安に研修会情報などを配信していきます。

現在 **151** 名の方に登録頂いています。皆様のご登録お待ちしております！！

友達追加の方法

友達の追加→QR コード
→右の QR コードを読み取る



友達の追加→ID 検索から以下の ID を入力

@442xxhdx

QR コードは (株) デンソーウェーブの登録商標です



令和5年度現職者研修予定

本年度の現職者研修を、日本作業療法士協会「生涯教育制度」に沿って以下のとおり実施します。
 詳細については、今後、[県士会ニュース](#)、[HPの最新の研修会案内等](#)でご確認をお願いします。

共通研修

	実施時期（予定）	会場	テーマ
1	令和5年10月1日	ZOOM	① 作業療法生涯教育概論
			② 職業倫理
			③ 作業療法の可能性
			④ 事例研究1：事例報告と事例研究
2	令和5年10月29日	ZOOM	⑤ 作業療法における協業・後輩育成
			⑥ 保健・医療・福祉と地域支援
			⑦ 実践のための作業療法研究
			⑧ 日本と世界の作業療法の動向
3	令和6年2月25日	検討中	⑨ 事例研究2：事例検討
			⑩ 事例研究3：事例報告

選択研修（身体障害領域）

	実施時期（予定）	会場	テーマ
	令和5年11月19日	ZOOM	身体障害領域の基礎知識
			急性期の作業療法
			回復期の作業療法
			生活期・終末期の作業療法

委員を若干名募集します!!

- ・現職者研修委員会では研修会の運営にご協力いただける会員さんを募集します。
- ・運営委員は現職者共通・選択研修の参加費を免除いたします。
- ・現職者研修をこれから受講する新人さんでも大丈夫ですので、お待ちしております。
- ・ご協力いただける会員さんは県士会ホームページの「[お問い合わせ](#)」から申し込みください。

地域社会振興部が新設されました

地域社会振興部

地域事業支援課

- 地域包括ケア推進班
- 認知症対策班
- 運転と地域移動対策班
- スポーツ振興班

昨年度までは地域包括ケア推進委員会として活動しておりましたが、今年度より、地域社会振興部が新設されました。それに伴い、旧委員会は地域包括ケア推進班として活動することとなりました。新たに示された地域共生社会5か年戦略のスローガン「人々の活動・参加を支援し、地域共生社会の構築に寄与する作業療法」を目指し、重点活動項目と第四次5か年戦略関連活動を積極的に進めていく方針です。

今年度の重点活動項目として、OT 参画のための市町村担当者設置事業、協会一士会連携・士会間連携(ブロック機能)事業、「保健事業と介護予防の一体的実施」参画事業、そして第四次5か年戦略関連活動として、短期集中型サービス以外の医療から地域(在宅)への取り組み促進事業、「短期集中型サービス」の参画促進事業、地域事業参画推進のための士会マネジメント事業、「重層的支援体制整備事業」の実態を把握と参画推進事業等を、部員23名体制で進めて参ります。

第1回地域事業支援会議開催

今年度第1回目となる会議は、2023年6月23日(金)の19時から、オンラインで開催され、3名の方が参加されました。当県士会からは、高山(野田病院所属)、下田(君津中央病院所属)らが参加しました。

会議では、新体制の報告と7つの重点活動項目とその他の実行业務について説明がありました。

地域社会振興部

地域事業支援課

- 地域包括ケア推進班

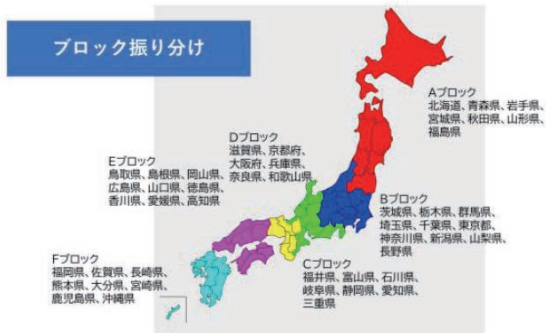
地域共生社会5か年戦略・重点活動項目関連事業の企画実行业務

- 1 医療から地域(在宅)への移行促進 事業
- 2 「短期集中型サービス」の参画促進 事業
- 3 OT参画のための市町村担当者設置 事業
- 4 協会一士会連携・士会間連携(ブロック機能) 事業
- 5 地域事業参画推進のための士会マネジメント 事業
- 6 「重層的支援体制整備事業」の実態を把握と参画推進 事業
- 7 「保健事業と介護予防の一体的実施」参画 事業

その他の企画実行业務

- 1 地域共生社会対策委員会関連
- 2 OT参画実態調査 関連
- 3 地域事業支援会議の企画運営 関連
- 4 協会誌、ホームページを活用した情報提供 関連
- 5 地域人材育成システムの管理 関連

千葉県士会はBブロック

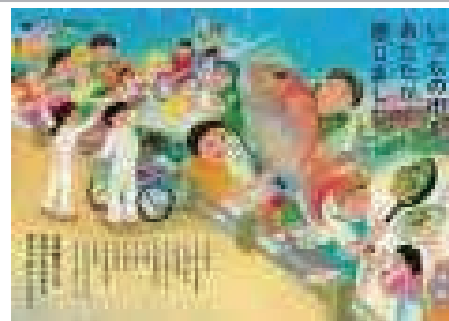


ブロック別のグループワークが開催され、千葉県士会はBブロックの所属となりました。協会の担当部員は、遠藤さんと有馬さんと宇都宮さんでブロック内の話し合いでは、自己紹介と今年度のブロック会議について、今後の協会一士会連携について話し合いました。中心として話し合われたのは、**協会からの情報をいかに士会、士会員に伝達するかでした。各士会での伝達方法を確認しながら、いい方法を各士会持ち帰り検討するなどの協議**がなされました。

協会からの伝達方法として、広報誌の活用やニュースレターの活動などを取り入れ、会員に情報発信を行っていくとありました。今後は、ブロック会議や地域事業支援会議等を通じて情報を共有していきたいと思ひます。

作業療法士は地域共生社会を理念で終わらせない

「ともに〇〇」をキーワードに、障害がある方もない方も、子どもも大人も、みんなが笑顔で暮らしている社会をイメージし、書かれたポスターです。ポスターの最後には「作業療法士は、地域共生社会を理念で終わらせない」と強い意志を表しています。このポスターを見た方が「こんなあたたかい街がいいな」、「私も地域社会をともに作りたいたい」と心に誓う……などということがあれば、うれしい限りです。



編集後記

新たな部の新設と今年度初めてのキックオフ会議でした。今まで参加されていた顔ぶれから初めての方まで、活気あふれる議論の中、無事に第1回の会議を終えることができました。参加者の活気に負けないように、我々委員も気を引き締めて取り組んでいこうと思ひます。千葉県士会 担当: 共生社会推進委員長 下田

委員のつぶやき「ペットボトルで手軽に水分補給？」



暑い、暑い！毎日、30℃？35℃というニュースはうんざりだ。そうそう、こんなときは水分補給が大切だ！ってニュースでも言っている。

水分補給と言えば、ペットボトルの飲料水。コンビニ、自販機と手軽に、どこでも手に入る。便利だ！

しかし、ふたが小さく、案外？力が必要なので、対象者さんたちが困るのは、よく聞く話ですね。ペットボトルオープナーでテコを利用してふたを開ける、滑り止めを敷いた上に本体をのせて固定するなど、工夫をしていると思います。が、「開けるときに、ペットボトルが潰れちゃうの」って聞いたことはありませんか？

ペットボトルの本体は、商品によって丸いもの、角があるもの、くびれていてもちやすくなっているものなどいろいろありますね。何気ないのですが、気がついてほしいのは「硬さ」です。脳血管障害の方や脊髄損傷の方から「ふたを開けようと力を入れたら、反対の手に力が入って、ふ

たが開いたら中味がぶしゅ、びゅ〜！」って、みなさんも聞いたことはありませんか？そう言えば、某リハビリテーションセンターでは、センター内で販売するペットボトルは硬いものに入れ替えたとか、聞いたことがあります。

作業療法士、ひとつのものごとだけではなく、反対の事象などに広い視野を持って考えるように、新人の頃に指導を受けたことを思い出します。何事も、表と裏をよく見て、考えてみるのが大切ですからね。

暑中、そんなことを思いながら、手軽にペットボトルの飲料水で水分補給です。

あっ！これじゃあ、「福祉用具」の話題じゃないのでは？まあ、「委員のつぶやき」ではなく、「じじいのひとりごと」として聞いてもらおう！

えっ！そもそも、この記事が掲載される頃は涼しくなっている？みなさんは来年まで覚えていられるかもしれないが、私はきっと忘れてる。

福祉用具対策委員会より

アンケートのお願い

千葉県作業療法士会 福祉用具対策委員会では、会員のみなさんが作業療法現場で福祉用具に関連する「どのようなことで困っているのか」を調査し、少しでも福祉用具を活用した有効な作業療法の提供につながるような支援、対策を検討してまいりたいと思います。調査内容は大きく5つで、選択式（複数回答可）となっており、自由記載などを含めても5分から10分程度で終わります。

お忙しい中、ぜひともご協力いただき、私たちの活動にみなさまの声を反映させてください。どうぞよろしくお願いたします。



アンケートはこちら

活用してみませんか？福祉用具相談支援システム

福祉用具の利活用するにあたり、選定・適応で悩むことや、保険適応などで迷うことは少なくないと思います。そんな時の問題解決の一手段として、「福祉用具相談支援システム」があります。このシステムは、(一社)日本作業療法士協会が開発・構築した、福祉用具の適応・選定・適合に関する情報支援を可能にする日本OT協会会員向けのWeb相談システムで、千葉県作業療法士会福祉用具対策委員会も相談支援アドバイザーとして参加しています。千葉県ではこれまでに「電動車いす使用時の玄関戸口の開閉について」、「腱板損傷者への下衣更衣引き上げ動作に関する支援について」、「食器の運搬に適した歩行器の選定について」などの相談に対応してきました。是非ご活用いただき、日々の臨床の一助としていただけると幸いです。

システムのご利用はまず利用登録から！

利用登録後、相談の投稿が行えます

※利用登録とは、福祉用具相談支援システムを使用する為に、あなただけのログインIDとパスワードを取得することです。

- 利用者登録を行い、個別のログインIDとパスワードを取得します。
- 個別IDとパスワードでログインします。初回時は「初回相談」をクリックし、「初回相談内容入力フォーム」から相談内容を送信してください。送信内容は掲示板に投稿され、相談アドバイザーへ通知されます。（掲示板は担当アドバイザーと送信者ご本人だけが閲覧可能です）
- 相談アドバイザーより「相談掲示板」に返信されます。
- 「相談掲示板」を利用して相談アドバイザーとのやり取りを相談終了まで続けます。
- 相談終了後は、相談アドバイザーよりアンケート回答への協力依頼があります。今後システムの発展、向上の参考とさせていただきますのでご協力をお願いいたします。

※一部のスマートフォンでは利用出来ない場合があります。

<http://www.jaot.info/>

福祉用具相談支援システム 検索

●福祉用具相談 支援システムの流れ

TOP画面より新規利用登録ボタンをクリック

次画面で「登録用ID」「パスワード」を入力

登録申請を入力

仮登録

初回「バグ送信された」に記されたIDとパスワードを入力

本登録（利用登録）が完了

個別ID & パスワード

初回相談

入力フォーム

相談掲示板

相談アドバイザー

利用登録用ログインID: yokaot

利用登録用パスワード: otot

●相談タイトル例

- ・車いすの調整について
- ・自動車用座席クッションの選定について
- ・リフトの導入について
- ・賃貸住宅の改修について
- ・在宅生活でのチャイムの工夫について
- ・駐車場から自宅への出入りについて

原点回帰

～作業療法の専門性を未来へ～

第25回

千葉県作業療法士学会

日時：令和6年3月3日（日）

場所：千葉県立保健医療大学 幕張キャンパス

学会長：多田 賢五

（リハビリ訪問看護ステーションNEXTかとり）

演題募集中

募集期間：2023.7.1（土）～9月18日（月）

●当学会で発表するメリット

1. 演題受付後に査読でアドバイスが受けられる。
2. 日本作業療法士会 生涯教育制度 現職者共通研修
10. 事例報告への読み替えが可能。
3. 認定作業療法士の取得要件の1つを達成できる。

※演題募集の詳細は第25回千葉県作業療法士学会のHPでご確認ください。



【問い合わせ先】 ot_gakkai25@yahoo.co.jp

研修会情報

詳細については千葉県士会 HP 研修会案内をご確認ください。

千葉県作業療法士会 運転特設委員会 運転情報交換会

研修会名：運転情報交換会

(千葉県作業療法士会 運転特設委員会)

研修期日：2023年11月4日(土) 13:30～16:00

場所：Zoom 開催

研修会内容：

今年8月に実施の「運転アンケート結果の報告」を中心に、地域ごとの運転関連情報などの報告も予定しています。また、地域ごとに分かれて「情報交換」「ディスカッション」を予定しています。

講師：運転特設委員より、アンケート結果の報告を行います

定員：特になし

申し込み方法：

下記 URL もしくは QR コードから参加受付してください。

<https://forms.gle/8QM58ms7bUw161FD8>

申し込み締め切り：2023年10月20日(金)



令和5年度 千葉県作業療法士会主催 第2回現職者共通研修

研修期日：R5.10.29(日) 9時15分～16時40分

開催形式：オンライン開催(ZOOM開催) 定員：先着40名
参加費：

①千葉県作業療法士会員 1テーマにつき500円

②非会員(他県士会員含む) 1テーマにつき750円

※①についてはR5年度会費納入者

講習内容：

①実践のための作業療法研究

講師：吉野 智佳子 先生(帝京大学ちば総合医療センター)

②作業療法における協業・後輩育成

講師：熊谷 将志 先生(東京湾岸リハビリテーション病院)

③保健・医療・福祉と地域支援

講師：土居 義典 先生(株式会社リボン)

④日本と世界の作業療法の動向

講師：石井 清志 先生(国際医療福祉大学)

※各テーマの講義時間は申し込みフォームよりご確認ください。

申し込み方法：申し込みフォームよりお申し込みください。

<https://forms.gle/9jWt8Z7Nzt5zDn6P7>

Dn6P7

申し込み締め切り：

令和5年9月18日～10月15日

12時(正午)まで



千葉県作業療法士会 地域共生社会推進委員会主催研修

【研修会に際して】

協会の事業を会員が共通理解し、一体的に推し進めるための研修会が必要と考え、研修の企画をいたしました。委員会内だけの遂行は困難であり、皆様のご協力が必要です。市町村との連携だけでなく、OTのニーズを増やし職能団体としての存在意義や後進のOTへ道を残すためにも是非ご参加ください。



【研修会名】

「OT 参画のための市町村担当者設置事業について」

【研修日程】令和5年9月28日(木)

【時間】19時～21時予定【定員】50名程度

【場所】オンライン研修

【講師】日本作業療法士会 地域包括ケア推進班

【研修会目的・内容】

協会の地域包括ケア推進班が進める重点課題項目である「OT 参画のための市町村担当者設置事業について」の趣旨についての周知と理解を図る。

【申し込み方法】

QRコードよりお申し込みください。

【申し込み締め切り】

令和5年9月27日



研修会情報

詳細については千葉県士会 HP 研修会案内をご確認ください。

東葛南部ブロック 交流会

【日時】令和5年10月22日(日)
【時間】10:30～12:00
【場所】Zoom
【開催内容】東葛南部ブロックのOTがどのように働いているのかの説明と交流会
【対象】千葉県OT、千葉県に興味のあるOTS
【申し込み】QRコードを読み取り、お申し込みください。
【申し込み〆切】令和5年10月15日(日)まで



第3回 千葉中央ブロック交流会

【研修会名】第3回千葉中央ブロック交流会
【日程】10月13日(金)20:00～21:30
【場所】オンライン(ZOOM)
【研修会内容】近くの人とつながろう！顔の見える関係を広げよう！第3弾！
【定員】作業療法士、作業療法士を目指す学生 30名
【申し込み方法】申込フォーム(QRコードまたはURLより)お申し込みください。
<https://forms.gle/GMYBwAsYN8A3SuZm8>
申し込み締め切り：10月12日(木)正午



理事会報告

2023年度 第1回 理事会

2023年4月11日(火) 19:00～21:00 WEB会議

坂田、須藤、今野、松尾、有川、兼子、金平、熊谷、佐々木(啓)、下田、多田、土居、露崎、野口、安森、横山、大塚 計17名

【検討事項】

1. 基礎研修ポイントについて
研修会を運営する委員へのポイント付与について、要件の統一が今後必要と考える。
→ 根本的な論点は三役で検討して欲しい。須藤副会長が担当。
2. 臨時総会意見から令和5年度活動に活かすべきこと
クレジット決済、研修会の開催の手続き(対面活動の指針について)、オンライン研修の個人情報の取り扱い、賛助会員の取り扱い等について意見があった。
→ 現状を把握し、改善していくように今後理事会で継続審議。
3. 日本作業療法士協会 代議員選挙運営委員の推薦
馬場委員を推薦 → 承認
4. 委員会の役割当てと任期について
委員長、広報、会計の役割、業務内容、任期の取り決めが無いため委員への負担が偏っていないか確認したい
→ 状況を把握し、今後理事会理事会にて継続審議。
5. 日本作業療法士協会 生涯教育制度推進担当者の推薦
野口委員を推薦 → 承認

【報告事項】

1. 生活期リハビリテーション実務者研修会委員の募集に関する進捗状況
2. 第24回千葉県作業療法士学会の終了報告(学会委員会)
3月5日、12日に開催：155名参加(うち14名が学生)
3. 令和4年度千葉県介護予防市町村支援検討会議 参加報告
4. 第3回千葉県地域リハビリテーション協議会報告
5. 千葉県介護保険関係団体協議会
令和4年度の活動報告と令和4年度第2回幹事会報告
6. ちばPOS会議報告
体制の整備のため定款の整備と会の名称について再検討中
7. OT協会47都道府県委員会参加報告
8. 卒業式・入学式出席等報告
9. 卒業生向け千葉県作業療法士会説明会終了報告
2日間開催し33名参加(1日目27名、2日目6名)
10. 令和5年度理事会開催日について
原則：第4週の火曜日に開催
11. 令和5年度の臨床実習指導者講習会の日程について
委員会の実績報告を検討中(内容については要検討)
12. 令和5年度総会について(令和4年度活動報告、決算)
13. 広報誌への提出期日の確認について



理事会報告

2023年度 第2回 理事会

2023年5月9日(火) 19:00～21:20 WEB会議

坂田、須藤、今野、松尾、有川、兼子、金平、五味、佐々木(啓)、佐々木(竜)、下田、多田、土居、露崎、野口、安森、横山、大塚、古城計 19名

【検討事項】

- 令和5年度総会(令和4年度活動報告、決算)について
 - 総会に向け、各委員会からの提出書類を税理士と確認作業中(領収書・出納帳の不備の無いように)。各部局委員会は、新年度の活動費について振り込まれているか各部局は口座の確認を行うこと。
- 賛助会員の募集について(事務局庶務部)
 - 県内の関連企業の以前声掛けを実施している。今後、どこまで声掛けを行うべきか?(基準について)
 - 案としては、会員が所属する施設・県内養成校に案内文を送付する。
 - 5月末を目途に理事より配布を希望する事業所を募り、収集する。まずは入力フォームを作成し、一覧を作成する
- 「千葉県脳損傷者運転支援連携会議」について(運転特設委員会)
 - 運転特設委員会のメンバーが各所属先の名義で参加しているが、県士会から派遣できないか?
 - 松尾氏を候補に調整する。
- 臨床実習指導者講習会参加費について
 - 委員会からの提案もあり、三役で参加費を見直した。
 - 県士会員(5000円)、他県士会員(8000円)、非会員(17000円)の3段階に分けて設定(令和6年度より)
- 基礎研修ポイントについて
 - 三役で参加費免除について案を作成し、説明があったが、さらに様々な提案が出されたため、次回の理事会で決めていく。
 - 継続審議(意見がある理事は、提案事項をまとめてくる)

6. 対面集合形式の活動の指針 ver.4 について

- 理事会メーリングリストにて意見集約し、次回理事会にて検討する。
 - 継続審議

7. 県士会公式 LINE の有料プランの変更について

- 令和5年6月、LINE側の改定により、情報発信が適切に行えないため、有料プランへ(月額5000円)変更を希望。
 - 承認

【報告事項】

1. 市原青年矯正センターへの訪問について

- 非常勤にて職員を募集。県内初の事業でもあり、適切な人材を三役中心に検討していく。

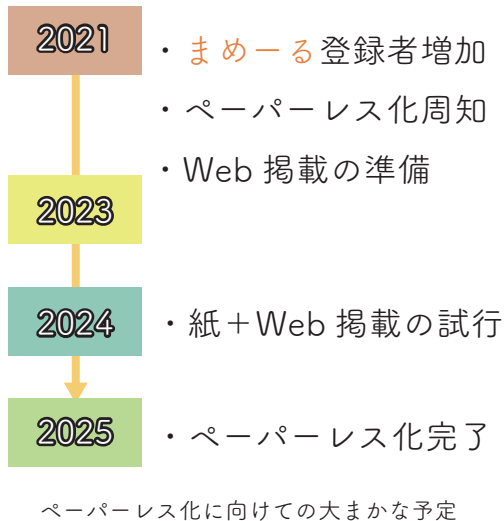
【確認事項】

- 県士会ニュース 83号(7月発行) 記事募集について
- 令和5年度第1回千葉県認知症対策推進協議会の開催について(依頼)
- 2023年第1回よんばち(幹事会)議事録の配信について
- 「令和5年度地域移行支援(退院促進)セミナー」へのご担当者派遣について(依頼)
- 千葉県介護支援専門員協議会理事、代議員の推薦について(依頼)

広報委員会よりおしらせ

県士会ニュースのこれからについて

これまでも県士会ニュース(以下ニュース)でご案内してきましたが、2025年のペーパーレス化にあたって県士会から会員の皆様への情報提供に関する変化などを紹介します。なお、記事執筆時点2023年7月での情報提供になるので今後変更となる可能性があることをご了承ください。



ニュースのペーパーレス化については、2021年から会員の皆様にご案内しておりますが、2024年からは紙媒体でのニュース発行と県士会ホームページ掲載(バックナンバー閲覧もできるように検討中です)を行う予定です。
研修会案内や県士会から会員の皆様への情報

提供は主に公式LINEアカウントと千葉県作業療法士会Facebook、まめーるにて行っていく予定です。
なお、まめーるでの災害時の連絡手段や情報収集については継続します。
また、研修会情報やおしらせは各種SNS媒体

から県士会ホームページにアクセスし確認ができるように整備を進めていく予定です。
会員の皆様には、このような変化を踏まえて、まめーるや公式LINEアカウントをぜひ積極的に活用していただきますようお願いいたします。

お知らせ：臨床実習指導者講習会委員会より

2024年度からの臨床実習指導者講習会の受講費 価格改定について

千葉県作業療法士会会員の皆様方におかれましては、平素より千葉県作業療法士会 教育部 臨床実習指導者講習会委員会の活動へのご理解とご協力を賜りましてありがとうございます。

この度、当士会が運営しております臨床実習指導者講習会の受講費につきまして、次年度、2024年度の開催から価格改定することが5月の理事会にて承認されましたことを、会員の皆様にご報告申し上げます。次年度以降の受講を予定していらっしゃる方々には、ご負担をおかけすることとなり大変恐縮ですが、以下のご案内をご覧いただき、ご理解頂ければ幸いに存じます。

受講費価格の改定に至った経緯として、2つの理由をご説明させていただきます。

1) 目標養成者数の達成

1つ目の理由は、臨床実習指導者養成数が目標数に達したことです。当士会では、2019年度から2022年度末までの期間に、計10回の臨床実習指導者講習会を開催してまいりました。それまでは協会主催でしたが、2019年度から各都道府県主催へと移行しました。その際、各都道府県士会で目標とする臨床実習指導者の可及的速やかな養成（千葉県においては669名）が強く期待されました。コロナ禍と重なりましたが、早期からオンライン開催へ切り替え、皆様の意識の高さや後輩育成指導への熱意のお陰もあり、2022年度末時点で養成目標数を達成することができました。

2) 生涯教育制度における臨床実習指導者講習会の位置付けとした受講費設定への見直し

2つ目は、2023年4月から日本作業療法士協会の生涯教育制度としても、基礎研修修了・更新要件に臨床実習指導者講習会の受講修了が必須となった点です。

これまでは特設委員会を経て常設の教育部に配置された委員会として臨床実習指導者講習会が行われておりましたが、先に述べた生涯教育制度における基礎研修への組み込みになったことを鑑み、今後は、生涯教育の一端を担う研修として位置づけ、より適正かつ継続的な運営をしていく必要がございます。そのため、生涯教育制度で開催される他講習会開催時間、内容と同等に値するものとして、受講費の改定をさせていただくこととなりました。

2つ目の理由の更なる背景には、過去の当士会運営の臨床実習指導者講習会の受講費と運営支出のバランスがとれず、支出が収入よりも大きく上回る開催回があったことが挙げられます。臨床実習指導者講習会は16時間以上の講義演習が定められており、運営人員とそれに伴う経費が一定以上必要となる講習会となっております。委員会としては必要最低限の人数での運営や、通信費削減の工夫など様々な対策をしてまいりましたが、前述しました適正かつ継続可能な講習会の運営の観点からも、受講費価格を改定する必要がございます。

以上の理由から、受講費を改定し再設定しております。

2024年度以降の具体的な受講費は右記の通りになります。

- 千葉県士会員：5,000円
- 他都道府県士会員：8,000円
- 非会員：17,000円

これまで通り、当士会員の方の受講を最優先とすることで、他都道府県士会員・非会員の方との差別化を図ってまいります。

今年度2023年度は、受講費改定前の最後の開催年度となります。

2023年6月24-25日、8月26-27日、11月4-5日、2024年2月3-4日、の全4回の開催を予定しております（6月、8月は既に募集終了）。臨床実習指導者講習会の受講を近々お考えの皆様におかれましては、今年度中の受講をご検討いただき、計画的にお申込み頂けると幸いです。

長くなりましたが、今後とも皆様のご理解ご協力を賜りたく、ここにご案内申し上げます。

引き続き、千葉県作業療法士会 教育部 臨床実習指導者講習会へのご参加、どうぞよろしくお願い申し上げます。

千葉県作業療法士会 教育部 臨床実習指導者講習会委員会